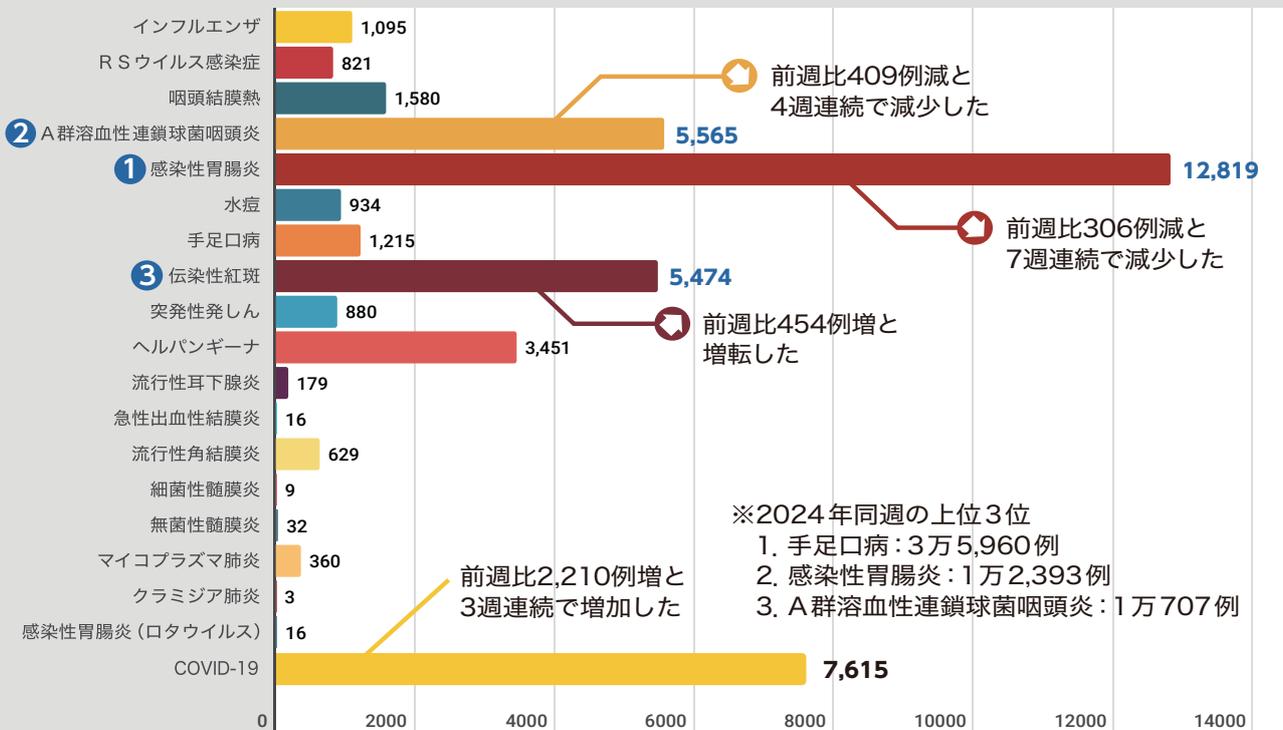




国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイトが発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

コロナ増加続く、沖縄で定当16.36と突出

丸数字は上位3位 ※COVID-19は除く



※2024年同週の上位3位
 1. 手足口病: 3万5,960例
 2. 感染性胃腸炎: 1万2,393例
 3. A群溶血性連鎖球菌咽頭炎: 1万707例

(国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイトのデータを基に編集部作成)

① 感染性胃腸炎

報告数

1. 東京都: 1,583例
2. 大阪府: 1,001例
3. 神奈川県: 699例

定点当たりの報告数(5.44)

- | | | | |
|---------------|--------------|--------------|----------------|
| 1. 愛媛県: 10.14 | 4. 大分県: 8.33 | 7. 群馬県: 6.96 | 10. 富山県: 6.59 |
| 2. 岐阜県: 9.11 | 5. 奈良県: 7.58 | 8. 福岡県: 6.90 | 11. 福島県: 6.57 |
| 3. 宮崎県: 8.40 | 6. 福井県: 7.32 | 9. 石川県: 6.75 | 12. 鹿児島県: 6.29 |

② A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

1. 東京都: 741例
2. 埼玉県: 517例
3. 千葉県: 420例

定点当たりの報告数(2.36)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 栃木県: 5.04 | 4. 茨城県: 3.61 | 7. 宮崎県: 3.33 | 10. 福岡県: 2.99 |
| 2. 愛媛県: 4.95 | 5. 富山県: 3.59 | 8. 宮城県: 3.23 | 11. 北海道: 2.90 |
| 3. 埼玉県: 4.66 | 6. 千葉県: 3.56 | 9. 長崎県: 3.19 | 12. 東京都: 2.82 |

③ 伝染性紅斑

報告数

1. 大阪府: 509例
2. 北海道: 398例
3. 兵庫県: 276例

定点当たりの報告数(2.32)

- | | | | |
|---------------------|---------------------|---------------------|-----------------------|
| 1. 山形県: 5.88 | 4. 栃木県: 4.89 | 7. 秋田県: 4.15 | 10. 福島県: 3.89 |
| 2. 群馬県: 5.56 | 5. 長野県: 4.88 | 8. 北海道: 3.90 | 11. 島根県: 3.82 |
| 3. 石川県: 5.04 | 6. 三重県: 4.45 | 8. 富山県: 3.90 | 12. 和歌山県: 3.78 |

※その他、17府県が警報基準値(2.00)超え

今週の感染症動向

感染性胃腸炎は前週比306例減と7週連続で減少した。A群溶血性連鎖球菌咽頭炎は409例減と4週連続で減少した。伝染性紅斑は454例増と増転し、定点当たりの報告数が警報レベル(2.00)を超えた地域は、前週の26道府県から29道府県(山形県、群馬県、石川県、栃木県、長野県、三重県、秋田県、北海道、富山県、福島県、島根県、和歌山県、福岡県、大分県、茨城県、新潟県、宮城県、奈良県、静岡県、滋賀県、大阪府、兵庫県、山梨県、広島県、岩手県、岐阜県、福井県、愛知県、宮崎県)に拡大した。COVID-19は2,210例増と3週連続で増加した。定点当たりの報告数は沖縄県(16.36)が突出しており、以下、山梨県(3.26)、千葉県(3.11)と続いた。水痘は357例減と減転し、定点当たりの報告数が注意報レベル(1.00)を超えた地域はなかった。